

2019年9月4日

株式会社山陰合同銀行

「フィンクロス・パートナーシップ」へのきらぼし銀行の参加について

株式会社山陰合同銀行(頭取 石丸文男)、株式会社群馬銀行(頭取 深井彰彦)、株式会社池田泉州銀行(頭取 鷗川淳)、株式会社四国銀行(頭取 山元文明)、株式会社千葉興業銀行(頭取 梅田仁司)、株式会社筑波銀行(頭取 生田雅彦)、株式会社福井銀行(頭取 林正博)の7行は、本日、「フィンクロス・パートナーシップ」に株式会社きらぼし銀行(頭取 渡邊壽信)が新たに参加することに合意しました。

「フィンクロス・パートナーシップ」は、各行のデジタル化を連携・協働して進めていくことを目的に、2018年5月に発足しましたが、これまでに、AIを活用したシステムの開発・導入を行うなど、短期間のうちに目に見える成果を残しています。今回、きらぼし銀行の加入により参加行は8行となり、従来以上に大きな「連携による効果」が期待できます。

なお、本連携は「イコールフットイング」「ベンダー色がない」ことを特徴とした、真に開かれたパートナーシップであると認識しており、「デジタル化を前向きにとらえ、これに対し積極的に取り組んでいく」という認識を持つ多くの金融機関の新規参加を歓迎するものです。

【沿革】

2018年5月25日	池田泉州銀行、群馬銀行、山陰合同銀行、四国銀行、千葉興業銀行、筑波銀行、福井銀行の7行によりフィンクロス・パートナーシップを締結
2018年6月25日	7行の共同出資により株式会社フィンクロス・デジタルを設立
2019年4月23日	「AIを活用した銀行内デジタル文書検索システムの導入」を発表
2019年8月1日	「AIを活用した金融商品レコメンドシステムの開発・導入」を発表
2019年9月4日	フィンクロス・パートナーシップにきらぼし銀行が新規参加

【連携による効果】

1. 銀行のデジタル化を進めていくために必要となるリソースを複数行で按分することで、各行の負担を抑制することが可能になること。
2. 異なるシステム基盤を持つ複数行が協働で開発・研究を行うことで、既存のシステムにとらわれない、新たな金融サービスの提供、技術の導入が可能になること。
3. データの匿名化等を前提に、複数行のデータを集約することで、単独行だけではできない高度なデータ分析、利活用が可能になること。



フィンクロス・パートナーシップ参加行はこれからも、協働して銀行のデジタル化（店舗のデジタル化、デジタルマーケティング、AI 審査、クラウド基盤活用等）を積極的に推し進めてまいります。

以上

【参考】参加8行の概要 (数値については2019年3月末時点)

※五十音順

商号	池田泉州銀行	きらぼし銀行	群馬銀行
創業・設立年月日	昭和26年9月1日	昭和29年1月8日	昭和7年9月12日
本店所在地	大阪市北区茶屋町18番14号	東京都港区南青山三丁目10番43号	群馬県前橋市元総社町194
代表者	代表取締役頭取兼CEO 鶴川淳	代表取締役頭取 渡邊壽信	代表取締役頭取 深井彰彦
資本金	613億円	437億円	486億円
預金残高(単体)	49,904億円	45,390億円	68,084億円
貸出金残高(単体)	39,263億円	36,961億円	55,654億円
従業員数(単体)	2,498人	2,918人	3,072人
店舗数(含む代理店)	142店	164店	155店

商号	山陰合同銀行	四国銀行	千葉興業銀行
創業・設立年月日	昭和16年7月1日	明治11年10月17日	昭和27年1月18日
本店所在地	島根県松江市魚町10番地	高知県高知市南はりまや町一丁目1番1号	千葉県千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
代表者	代表取締役頭取 石丸文男	代表取締役頭取 山元文明	代表取締役頭取 梅田仁司
資本金	207億円	250億円	621億円
預金残高(単体)	38,359億円	26,436億円	25,107億円
貸出金残高(単体)	31,210億円	17,736億円	20,878億円
従業員数(単体)	2,018人	1,361人	1,356人
店舗数(含む代理店)	150店	110店	74店

商号	筑波銀行	福井銀行
創業・設立年月日	昭和27年9月15日	明治32年12月19日
本店所在地	茨城県土浦市中央二丁目11番7号	福井県福井市順化1丁目1番1号
代表者	代表取締役頭取 生田雅彦	代表執行役頭取 林正博
資本金	488億円	179億円
預金残高(単体)	22,569億円	23,174億円
貸出金残高(単体)	16,463億円	16,723億円
従業員数(単体)	1,524人	1,403人
店舗数(含む代理店)	148店	98店